



こども財団だより

CHILD FOUNDATION NEWS

- 第29号 -

こども財団の取組を紹介する季刊誌です

こどもの居場所設置・運営事業



2025年1月、明石市内2カ所目のこども第三の居場所となる「あかしフリースペース ここのば」（以下、「ここのば」という。）を開設しました。開設からもうすぐ1年を迎えるここのばの活動について、ご紹介します。

ここのばの概要

- 【開所時間】 午前9時～午後5時（土日、祝日、年末年始は休み）
- 【開所場所】 明石市魚住町西岡500-2 JA兵庫南トータルサポートセンター3階（JR「魚住駅」北口より400m徒歩約6分）
- 【対象者】 学校に行きづらいなど様々な悩みを抱える明石市に住居を有する6歳～18歳（小学1年生～高校3年生年齢）の子ども
- 【定員】 30名程度
- 【利用者負担】 なし（教材等の実費負担あり）



1st ANNIVERSARY



バスケットに
楽しかった
お友達と



いのちをめぐる
ほろけがたのし
かった。

バスケが
楽しかった
来年も行きたい

言語解きとフォトスポットの
写真撮影が楽しかった
またやりたい!!

このば みんなのおもいで

子どもたちによる 子どもたちのための
子どもたちの居場所

このばでは毎週「このば会議」を開き、自分たちのやりたいイベントや行きたい場所、このばでのルールなど子どもたちが主体となってみんなが楽しめるような場所となるように話し合っています。



おやの居場所

おやのば ほごしゃのこえ



自ら朝起きて、電車の時間も調べ、一人で電車に乗って通う姿を見てとても成長を感じます。
参加するかしないかも、自分のペースで選んでいるのも嬉しい限りです。

小3 保護者

年上の人との交流も無かったので本人にはいい刺激になっています。このばで麻雀を知ったことで、父親との会話や交流の機会が増えたのでとても感謝しています。

小5 保護者

不安が強く、それまで学校ではできなかった事ができるようになりました。このばでは不安もないということで近くまで送れば一人で行けるようになりました。

中2 保護者



こども・若者が社会に参画する機会とするため、やってみたいことやチャレンジしたいことなど、自らが計画し実践する活動に対して助成しています。

スポーツ、音楽、ダンス、芸術、ボランティア、地域交流など、自分たちが楽しむだけでなく、「努力した成果を披露したい」、また活動を通じて「地域を元気にしたい」「社会に貢献したい」などの思いを応援します。



今年度は、6団体が活動しています。それぞれの団体の活動について紹介します。

明石商業高校サッカー部マネージャー

明石商業高校サッカー部マネージャーたちが中心となって、月1回程度、中学生を対象に、普段の練習ではあまり使うことのない人工芝のグラウンドを借りて、一緒に練習や試合する場を企画・運営しています。

市内の中学生たちと明石商業高校サッカー部が交流しながら、思い切りサッカーを楽しむことができる場となっています。



一般財団法人HugLabユースチーム

一般財団法人HugLabのユースチームが中心となって、こども・若者のみんなが安心して自由に自分の意見を発信できる場として、ヒミツ基地会議を開いています。

また今年は、大人も子どもも安心して楽しめる「ヒミツキチあきまつり」を開催しました。企画・準備・運営もチームが中心になって進め、当日は、多くの子どもたちでにぎわっていました。



0組ぼっち類型

高校生の有志のグループが中心となって、国登録有形文化財の旧安藤家住宅の一角を借りて、段ボール迷路づくりにチャレンジしました。

地域の昔の写真を展示するなど工夫を凝らし、子どもから大人までみんなが楽しみながら、旧安藤家住宅がある船町の歴史・伝承に関心を持ってもらう機会となりました。



ニライカナイ

あかしユーススペースで活動しているグループです。

子どもたちとふれあい、いろいろな人とつながり、そしてグループのパフォーマンス力を向上させることを目的に、活動しています。ショッピングモールでのイベントやこども食堂で演奏したり子どもたちが楽器に触れることができる機会を作るなど活動しています。



We Love あかし

“We Love あかし”は、明石商業高校家庭科部の生徒たちが、子どもたちの成長をサポートしたり、明石の地域を元気にすることを目的にしている活動です。

今年度は、地域の子どもたちを対象に、図書館での絵本の読み聞かせや、一緒にお菓子とお菓子箱をつくり、その後茶道を体験するイベントを企画・開催しました。



神戸芸術工科大学 特殊造形部

特殊造形部では、ヒーローや怪人のマスクやスーツ、武器などをすべて自分たちで制作しています。

明石のみなさまに自分たちの活動を知ってもらうとともに子どもたちに特殊造形の魅力を伝えるため、制作した作品を用いて、市内のイベント出演(ヒーローショー)やこども食堂で特殊造形のワークショップを開いたりしています。



NEW

放課後児童クラブを紹介するコーナー

～シリーズ 放課後児童クラブ～

今回は「大観児童クラブ」を紹介します！

大観児童クラブは1年生から5年生までの71名が2クラスに分かれて過ごしています。校舎3階に育成室があり、毎日階段を上って「ただいまー！」と笑顔で帰ってきてくれます。

室内あそびの時間はクラスを自由に行き来し、工作、折り紙などの作品作りやおはじき、トランプ、けん玉などそれぞれでお友達と輪を作りながら、楽しい時間を過ごしています。帰る前には外遊びにも行きます。遊具や虫とり、ハンドベースなど元気いっぱい遊んでいます。

帰りは支援員と子どもたちがお互いに「今日も一日ありがとうございました、さようなら！」と気持ちのいいあいさつで締めくくります。なかまを大切に「ありがとう」の言葉が自然にあふれるあたたかいクラブづくりを目指したいと思います。



あなたも放課後児童クラブで働いてみませんか？
興味のある方はお気軽にご連絡ください！

放課後児童クラブ担当 ☎078-915-8170

食材提供

こども食堂等へのあたたかいご支援を
ありがとうございます

ご提供者	提供先	提供品
株式会社Rebro様	こども食堂	パズル
ゆりのき内科様	こども食堂	米
生活協同組合コープこうべ第6地区本部様	こども食堂	米
株式会社明治様	こども食堂	お菓子
株式会社三菱UFJ銀行明石支店様	こども食堂	お菓子・ジュース他
個人様(1名)	こども食堂	米



出前講座等

おかねのおはなし

㈱三菱UFJ銀行
明石支店 様

✕ こども食堂

魚住東地区民生児童委員協議会の皆様が運営するこども食堂「レストランつながり」にて、㈱三菱UFJ銀行明石支店が、お金にまつわる出前講座を実施しました。

講座は、1億円の重さ体験や名刺交換、お買い物など、皆が楽しめるプログラムが盛りだくさん！子どもたちは銀行スタッフと和やかに交流しながら、お金の大切さや銀行のお仕事について、理解を深めていました。



あかし
里親100%
プロジェクト

24

小学校区

79

家庭が里親登録

すべての子どもに家庭のぬくもりを /

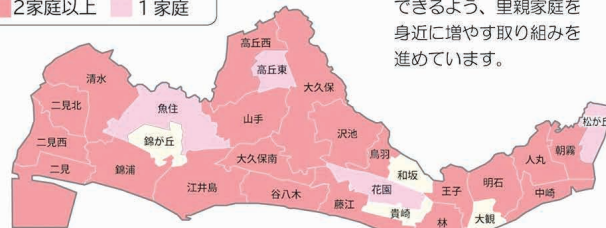
あかし里親100%プロジェクト

里親マップ (2025年9月1日時点)

里親登録している家庭数

■ 2家庭以上 ■ 1 家庭

すべての子どもたちが、
家庭での愛情やぬくもり
を感じながら育つことが
できるよう、里親家庭を
身近に増やす取り組みを
進めています。



広がっています

市内には 79 家庭の里親さんがいます (2025年9月1日時点)

☀ 里親相談会を毎月開催しています (無料、予約不要)
ぜひ、お気軽にお越しください。日程等詳細は市のHPへ。

お問い合わせ あかし里親センター

TEL 078-935-9720 FAX 078-935-9721

akashi.satooya@ainote.main.jp



西日本こども研修センターあかし

National Training Center for Prevention of Child Abuse and Neglect

「昔はこうだったのに」と感じる場面が、日常の中で増えていませんか。

社会の変化は著しく、かつての常識や手法が通用しないことも少なくありません。こども家庭福祉の分野でも、法改正が相次ぎ、支援者が戸惑いを感じています。制度や仕組みの変化と共に、支援のあり方そのものを見直す必要性も高まっています。

こうした変化の中で当センターの研修が、参加者にとって知識やスキル、そして支援の視点を“アップデート”する機会となることを願っております。

また、私たち研修企画者も現場の声に耳を傾け、共に学び、高め合う姿勢を大切にしていきたいと思っています。

双方向の学び合いが、より良い支援の未来を築く力になると信じています。

研修企画員：稲垣 紀夫

公益財団法人



こども財団

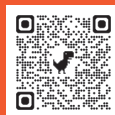
CHILD FOUNDATION

〒674-0068 明石市大久保町ゆりのき通1丁目4番7号

電話 078-920-9670 FAX 078-920-9671

メール info@akashi-kodomo-zaidan.jp

HP https://akashi-kodomo-zaidan.jp

所在地
略図